

用するが高温度となるに従いその効果は減少する。(2)綿(羽二重)、スフは温度の高低にかかわらず効果少く、(3)純毛サーヂは温度の高低如何にかかわらず有効である。

55 アイロンがけに対する加圧力と温度の効果について

奈良女子大学 北村 君

家庭作業においてアイロンがけに人力による加圧力必要の有無を知ることは、主婦の労働能率上重要である。

本研究は、日常用いられる布地について、人力による加圧力の有無別温度別にアイロンがけを行い、その効果について比較実験を行った。

結果、加圧力は(1)木綿について低温度の場合有効に作